

(一般情報)

ねぎ収穫作業の負担軽減に向けて ～アシストスーツを装着した作業体験を実施～

長生農業事務所改良普及課 令和2年11月30日発

ねぎの収穫は、中腰姿勢が続くなど長時間同じ作業となるため、体への負担がとても大きくなります。そこで農業事務所では、11月18日に、作業負担の軽減を目的に、農業ベンチャー企業の協力を得て、腰をサポートする「アシストスーツ」の検討会を開催したところ、ねぎ生産者10名とJAの参加がありました。ほ場で参加者が実際にアシストスーツを装着し、「抜き取り作業」や「根きり作業」などを体験しました。参加者からは、「抜き取り時の中腰作業の姿勢が、座った感覚になるので体が楽！台風後の直し作業にも良いかも。」、「装置になれるまでは時間がかかりそう。」、「補助事業があると導入しやすい。」など、多様な意見が出ました。その場で購入を決める生産者もあり、負担を軽減したい生産者が多いことも再確認できました。

農業事務所では、今後も産地の継続に向け、現地の課題解決に取り組んでいきます。



検討会の様子



体への負担軽減効果を確認する生産者